

Nougyou Nounon

いしのまきNN通信



トヤケ森から望む石巻管内の風景

「いしのまきNN通信」は、石巻地域の農業農村整備事業に関連する活動等を広くお知らせすることを目的に、年3回程度発行しています。掲載希望の情報等がありましたら農村振興班までご一報ください。今後ともよろしくお願ひします。

東松島市西矢本地区・大曲地区で営農再開



第 3 1 号の目次:



▲ 西矢本地区 平成27年度営農再開農地の水稲の生育状況 (H27.7.7)

東日本大震災による被災を受けた東松島市西矢本地区で、新たに93haでの農地復旧が完了し、平成27年度から営農が再開されました。これにより、西矢本地区全域での農地災害復旧工事が完了となります。

西矢本地区では、被災農地の復旧と併せて「農山漁村地域復興基盤総合整備事業」による農地整備も進められており、この事業の完了は平成30年度を予定しています。

また、同じく東日本大震災の被災を受けた東松島市大曲地区でも、新たに38haの農地復旧が完了し、平成27年度から営農が再開されました。

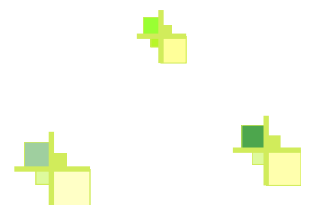
平成27年5月8日には、キリンビールが県産ササニシキを使用する商品の販売促進として大曲地区の復旧農地で田植えを行うイベントが開催され、村井知事も参加しています。

大曲地区で被災した農地のうち、営農再開した農地は89haとなりました。残る農地についても、平成28年度の営農再開に向けて復旧工事が進められています。



▲大曲地区復興イベント後の記念撮影 (H27.5.8)

東松島市西矢本地区・大曲地区で営農再開	1
石巻市大川地区長面工区の復旧の進捗	2
平成27年度 奥松島地域営農再開実証プロジェクト	3
自治法派遣による派遣職員の紹介	4



平成27年度 大川地区長面工区で一部営農再開

平成27年5月下旬から6月上旬にかけて、石巻市大川地区長面工区の一部が営農再開し、水稻および大豆の作付けが行われました。

大川地区は新北上川の河口南側に位置する地域で、約413haが津波により被災しました。河口からより離れた針岡工区約175haは平成26年度から175ha全てで営農再開していますが、河口に近い長面工区約238haでは、現在も干陸化作業・農地復旧工事が進められています。

長面工区の約240haのうち、平成24年11月までに干陸化した約170haは平成25年度から農地復旧工事が進められており、平成26年度は試験ほ場として0.24haで水稻の作付けが行われました。

平成27年度は試験していたほ場を拡大し、6haで営農再開しています。作物は平成26年度に引き続いて水稻が選択されたほか、転作栽培が可能かを確認するために大豆が選択されました。大豆を作付けするほ場には地下水水位制御システムが導入されており、地下水水位や塩分濃度、生育状況等を確認しています。



▲大川地区長面工区
水稻生育状況 (H27.7.7)



▲大川地区長面工区
大豆生育状況 (H27.7.7)

石巻市大川地区長面工区 干陸化のための排水開始

平成27年6月下旬から、石巻市大川地区長面工区の約70haで、干陸化のための排水作業が開始されました。

大川地区長面工区は津波による被災の度合いが特に大きく、地盤沈下等の影響から長期にわたって水没している状態が続いていましたが、海岸堤防の復旧が進んで海水の流入が抑えられるようになった区域から段階的に干陸化作業が進められてきました。

今回排水作業が行われるのは、追波湾に面する、より被害の大きな区域です。平成26年度に干陸化作業が行われる予定でしたが、平成25年度の台風などにより復旧中の海岸堤防が破損し、復旧が遅れていました。現在も水没しているのはこの区域のみであり、この区域の干陸化によって長面工区全体の干陸化が完了します。干陸化後はガレキ等を撤去し、石巻市により行方不明者の搜索活動が実施される予定です。



▲大川地区長面 水没区域 (H26.7.9)



▲左写真と同地点で撮影 (H27.7.9)

平成27年度 奥松島地域営農再開実証プロジェクト

東日本大震災の被災地区である奥松島地域において、平成26年度から引き続き「奥松島地域営農再開実証プロジェクト」として営農再開に向けた試験が行われています。

東松島市野蒜地区 洲崎（水稻）

平成27年4月28日、東松島市野蒜地区洲崎にて、奥松島地域 営農再開実証プロジェクトの一環として水稻の試験作付けが行われました。

東松島市や宮城県、地元の農業者で組織する農事組合法人「奥松島グリーンファーム」等によって、試験ほ場0.14haでひとめぼれが作付けされました。平成27年度は、将来的な大規模栽培のための作業効率の向上や、平成26年度の試験結果との比較のため、乾いた田んぼに直接種もみをまく「乾田直播」という作付け方法が選択されています。



▲洲崎地区 乾田直播の様子 (H27.4.28)

東松島市宮戸地区(ソバ・サツマイモ)

平成27年6月12日、東松島市宮戸地区でソバの試験作付けが行われました。

ソバの播種作業は、地元農業者の「いちじくの里果樹生産組合」と地元の復興組合の方たちによって行われました。ソバは塩害に弱いとされる作物であり、除塩を行ったほ場に作付けし、生育状況等を計測することで除塩の効果を確認します。また、ソバは海水浴の時期である8月頃に開花するため、近くの海水浴場に向かう道路に沿った形でソバを作付けし、観光地としての景観形成も図ります。

同日、宮戸地区ではサツマイモの試験作付けも行われました。秋には地元の小学生によるサツマイモの収穫祭も予定されています。



▲上：宮戸地区 ソバ作付けの様子
下：宮戸地区 サツマイモ定植作業の様子 (H27.6.12)

東松島市野蒜地区 洲崎（大豆）

平成27年7月7日、東松島市野蒜地区洲崎で大豆の試験作付けが行われました。

今回の試験作付けは、長期にわたって浸水していた農地での大豆の生育状況の確認と、営農再開後の転作作物としての大豆の有効性を検証するために行われたものです。平成27年度から新たに設置した試験ほ場50aに、宮城県の奨励品種であるミヤギシロメと、営農再開後の販売作物として見込む茶豆を作付けしました。また、ミヤギシロメを作付けしたほ場の一部は、除塩工事未実施区画として分割しており、除塩工事を行った区画との生育状況の比較を行います。



▲洲崎地区 大豆作付の様子 (H27.7.7)

災害復旧支援の自治法派遣職員のみなさん

平成23年9月1日より、地方自治法の規定に基づき、災害復旧支援のため県外から自治法派遣職員の方々に応援に来て頂いております。

現在、当部では愛知県4名、兵庫県3名、徳島県3名、岡山県2名、島根県1名、神奈川県1名の方が応援に来ています。また、これまでに三重県、佐賀県の職員の方も応援に来ていただきました。

当部では、自治法派遣職員のみなさんと協力し、農地・農業用施設の災害復旧業務に取り組んでまいります。



▲愛知県から派遣の職員(7月)



▲兵庫県から派遣の職員



▲徳島県から派遣の職員



▲岡山県から派遣の職員



▲島根県から派遣の職員



▲神奈川県から派遣の職員



▲現地での復旧・復興活動の様子

一日も早い災害復旧と
地域復興をめざして



宮城県東部地方振興事務所 農業農村整備部
(編集：農村振興班)

〒986-0812 石巻市東中里1丁目4-32

Tel 0225(95)1411 (内) 489 Fax 0225(96)4880

E-mail et-ss-nos@pref.miyagi.jp

URL <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-ns/>